



2023年5月期（31期）

# 第3四半期 決算説明会

2023年 4月11日

株式会社インターアクション

証券コード：7725

※本決算説明会の内容につきまして、ご参加される方による  
録音、録画はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

# Agenda

---

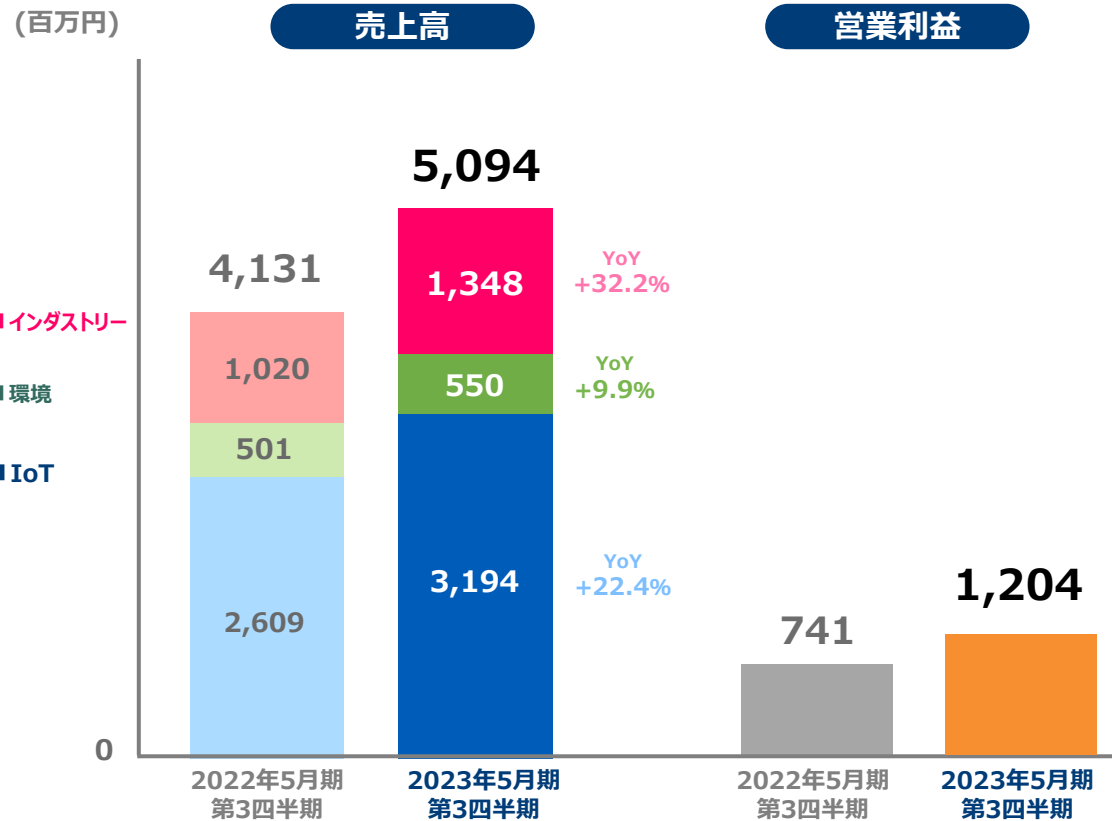
- ① 業績サマリー
- ② 業績予想の修正
- ③ 既存事業・新規事業における今後の動向

-Appendix-

# 業績サマリー

## POINT

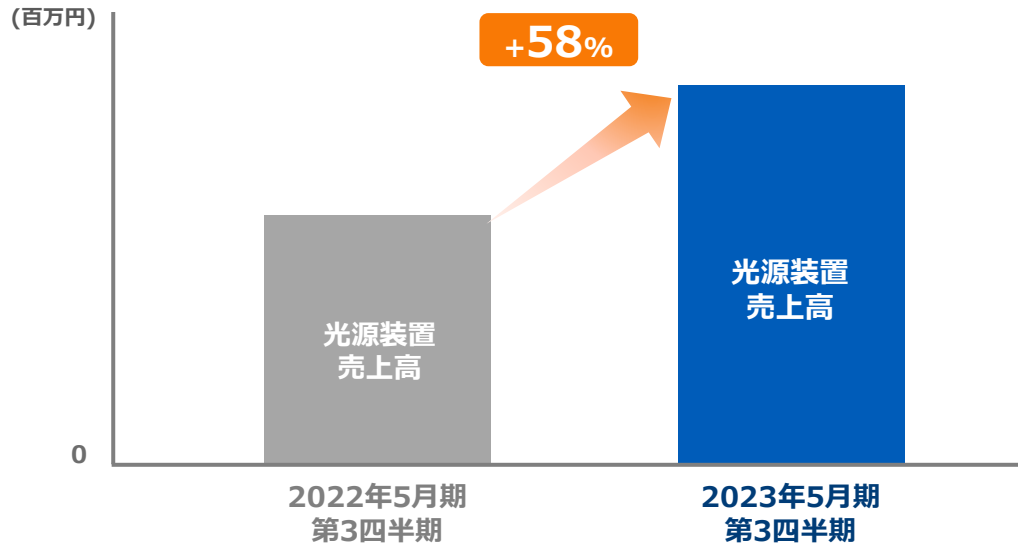
- 主に、IoT関連事業セグメントが堅調に、インダストリー4.0推進事業セグメントが好調に推移し、連結業績は前年同期比で増収増益となった。
- **IoT関連事業セグメント**：収益性の高い海外顧客向け光源装置の販売が好調に推移。
- **環境エネルギー事業セグメント**：装置本体の販売が引き続き堅調に推移。
- **インダストリー4.0推進事業セグメント**：精密除振装置及び歯車試験機の販売が好調に推移。



## 主要な経営指標の推移

(百万円)	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比 増減率 (%)
売上高	4,131	<b>5,094</b>	23.3
営業利益	741	<b>1,204</b>	62.4
経常利益	768	<b>1,251</b>	62.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	482	<b>811</b>	68.2
1株当たり 四半期純利益	43.99円	<b>74.50円</b>	-

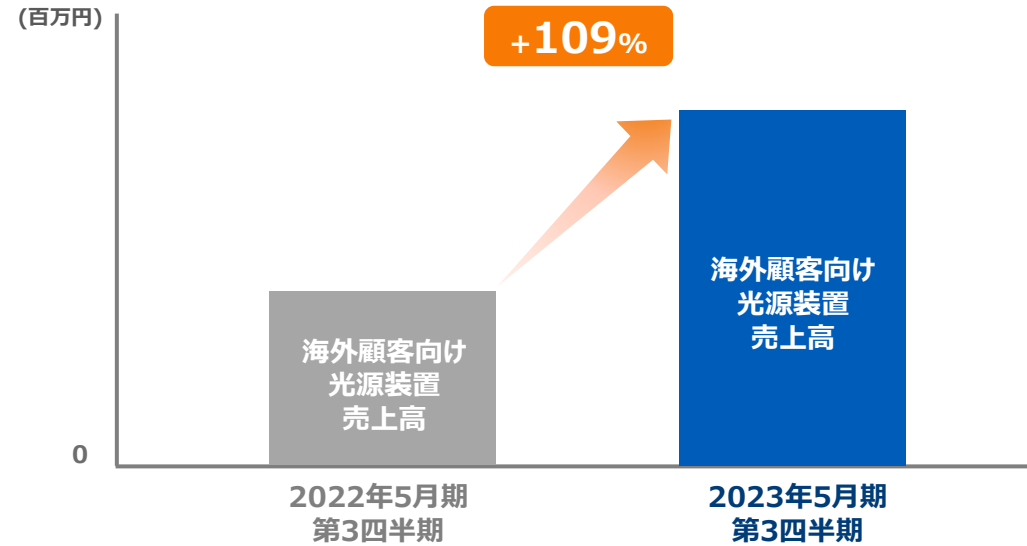
## 光源装置（全体） 売上高増加



主に海外顧客向け光源装置の  
販売が好調に推移  
+  
第2四半期に生じた期ズレ分

前年同期比で  
**+ 58%** ↑

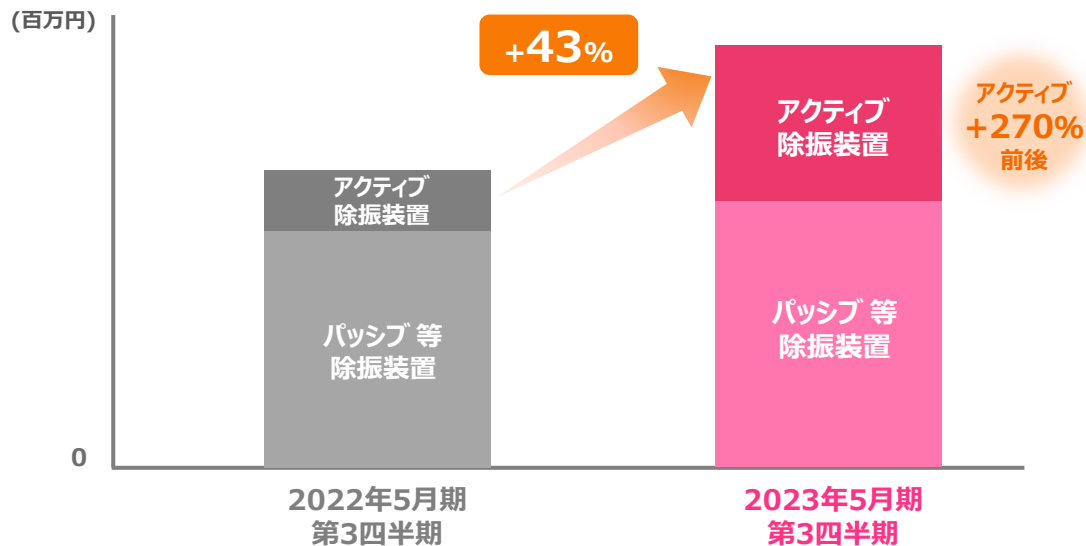
## 光源装置（海外顧客向け） 売上高増加



海外主要顧客の  
大規模な設備投資により

前年同期比で  
**+ 109%** ↑

## 除振装置（明立精機グループ） 売上高

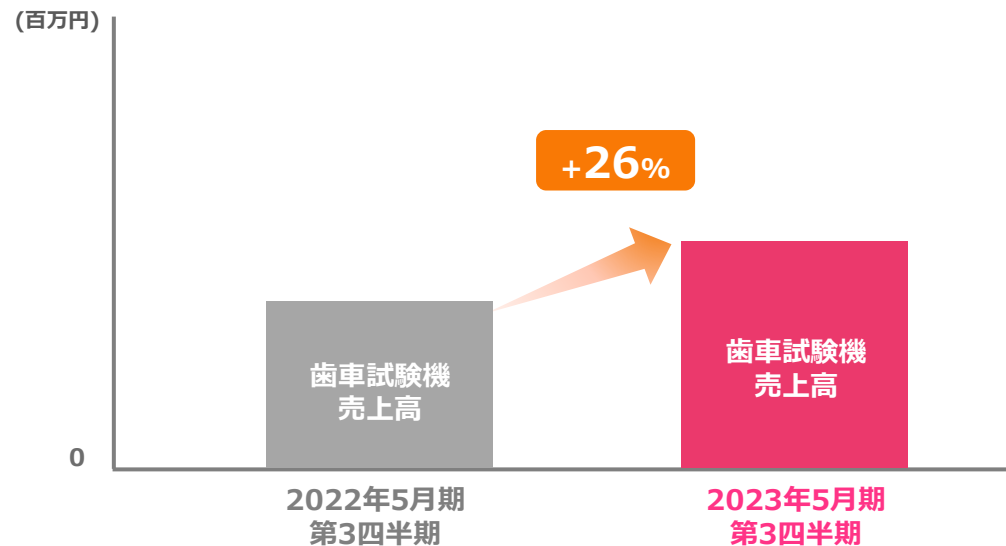


高付加価値な  
アクティブ除振装置の販売が  
堅調に推移

前年同期比で

+ 43% ↑

## 歯車試験機（東京テクニカルグループ） 売上高



主に海外顧客向け歯車試験機の  
販売が堅調に推移

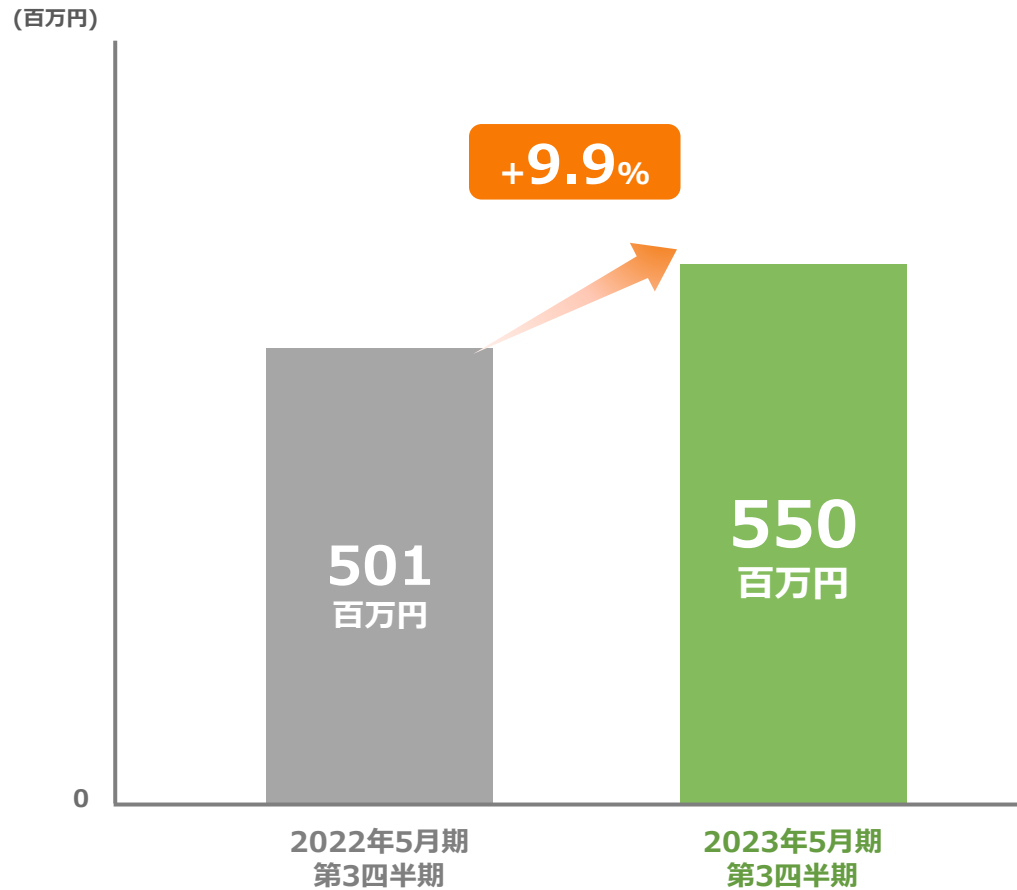
+

産業用ロボット向けの需要増加

前年同期比で

+ 26% ↑

## 環境エネルギー事業 売上高 増加



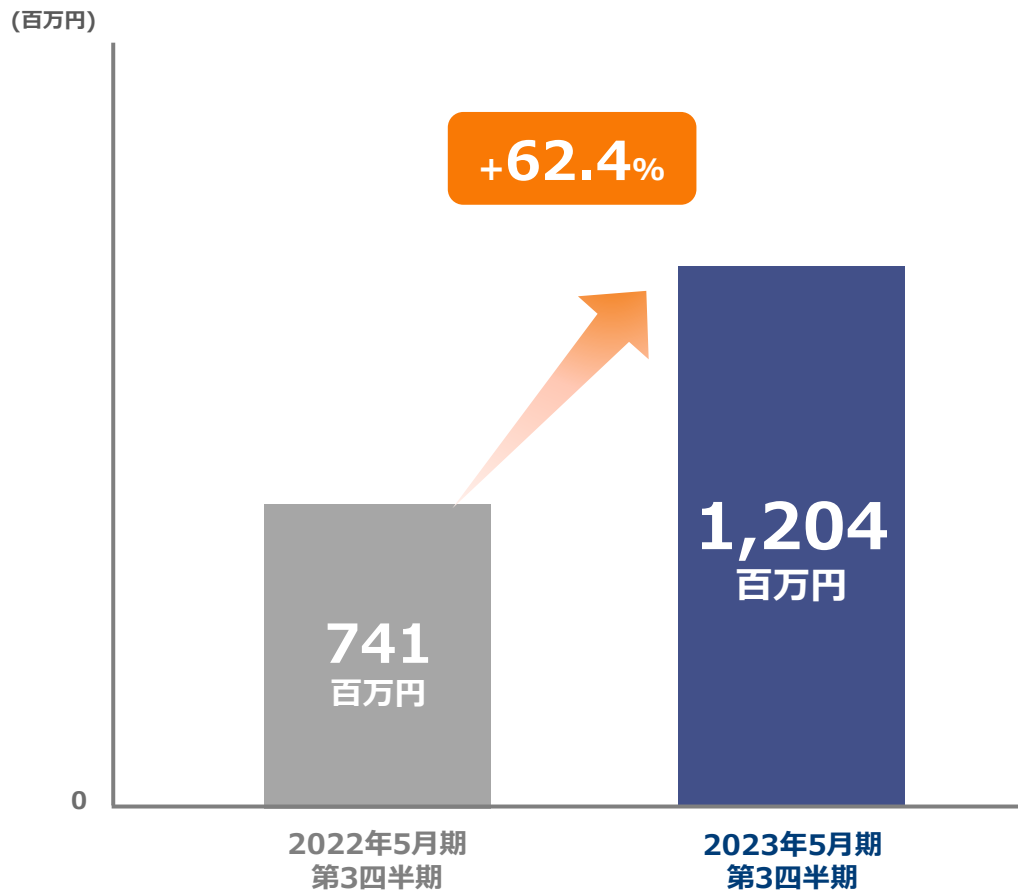
乾燥脱臭装置本体の販売が  
堅調に推移

前年同期比で

+ 9.9% ↑

来期・再来期に向けた  
装置本体案件  
複数進捗中

## インターアクション 営業利益 増加



## 増加要因

### ①IoT関連事業セグメントにおいて

収益性の高い海外顧客向け光源装置の  
販売が好調に推移。

### ②インダストリー4.0推進事業セグメントにおいて

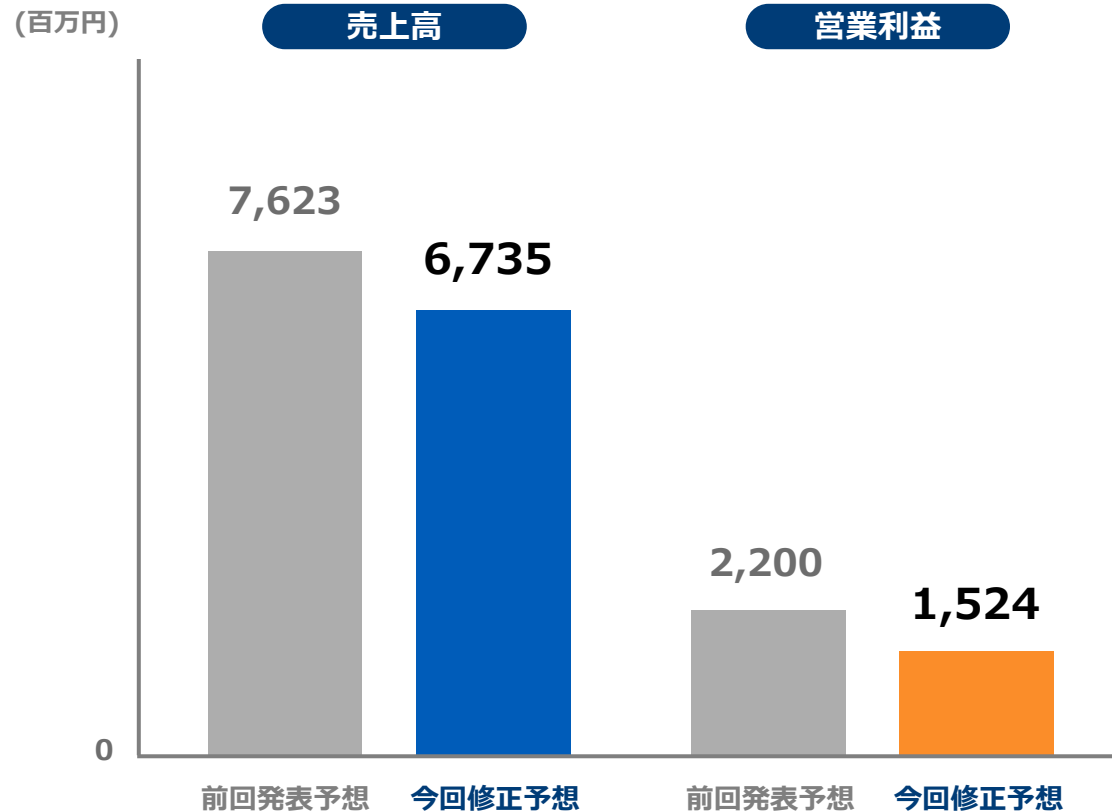
収益性の高い除振装置及び歯車試験機の  
販売が好調に推移。



# 業績予想の修正

## 修正の理由

- 海外顧客向け光源装置及び瞳モジュールの国内販売が期初予想と比較して低調に推移した。
- 瞳モジュールの海外展開についても、技術的課題が生じたことにより、想定よりも進捗鈍化。
- インダストリー4.0推進事業セグメントにおける新規製品（FA画像処理装置、新型除振装置 等）の販売を開始したものの、まだ受注本格化となっておらず、想定していた売上高を確保することが難しい状況となった。

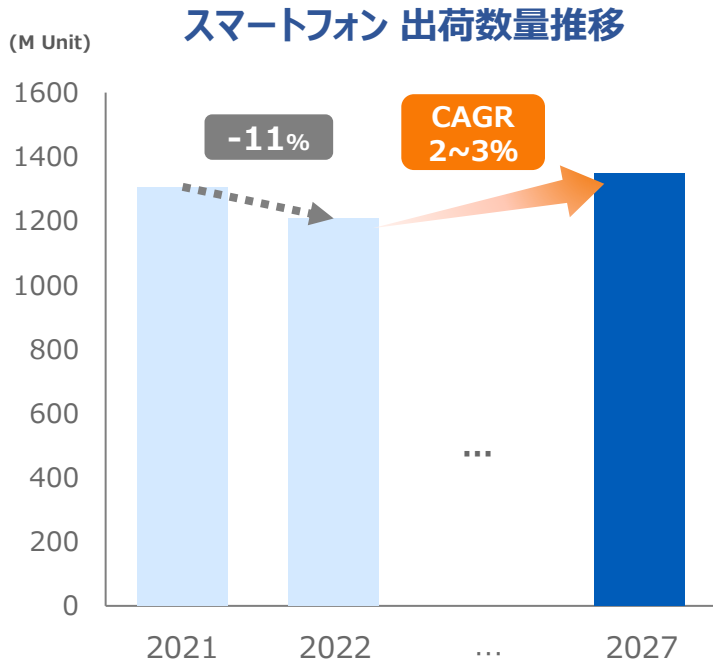


## 主要な経営指標の推移

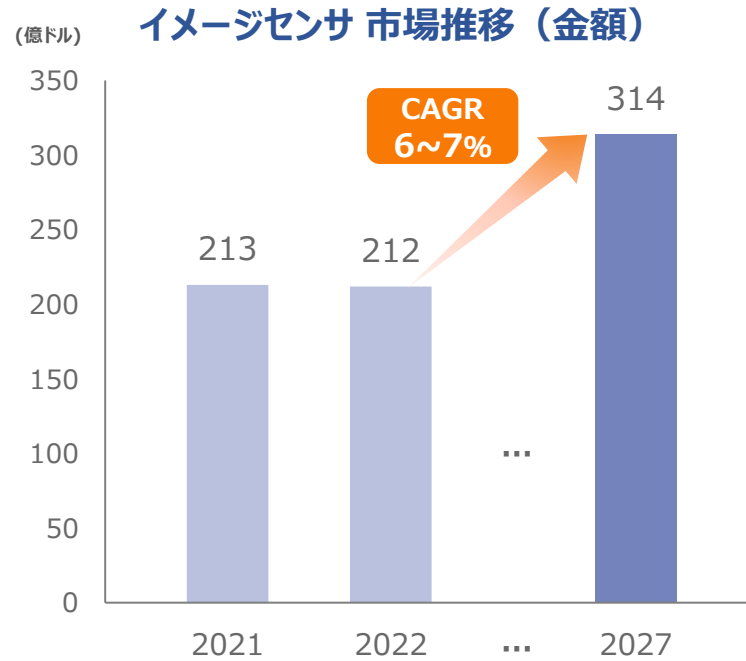
(百万円)	前回発表予想	今回修正予想	増減率 (%)
売上高	7,623	6,735	△11.6
営業利益	2,200	1,524	△30.7
経常利益	2,224	1,576	△29.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,459	999	△31.5
1株当たり 当期純利益	133.96円	91.72	-

# 既存事業・新規事業における今後の動向

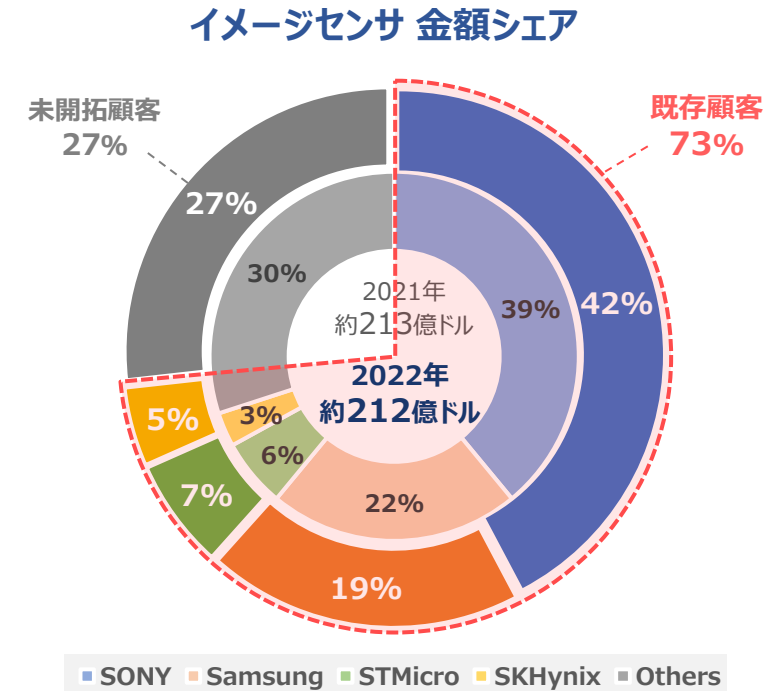
▶ イメージセンサ市場において既存顧客のシェアが拡大 ➡ 今後、弊社製品の需要が増加する想定



(出所：IDC 2023年 3月)



(出所：IA調べ)



(出所：YOLE 2023年 3月)

スマートフォンの出荷台数  
前年同期比で減少 ➡ 2024年以降緩やかに回復

多眼化の推進により  
イメージセンサ自体の必要数量は  
増加していく想定

ハイエンドイメージセンサの普及  
+  
イメージセンサ用途の拡大

CAGR  
6%~7% で推移

イメージセンサ市場における  
既存顧客の金額シェア拡大

2021年 70% ➡ **2023年 73%**

ハイエンドデバイスをターゲットとしている  
弊社製品の需要 今後増加

## 長崎開発センター



2023年 4月 開設

活用



顧客とのリレーションシップ強化



開発プロセスの強化

+

納期の短縮

## バリューチェーンの強化

Step1

研究開発・製品化

Step2

製品評価

Step3

販売・マーケティングの強化

製品価値の向上

CLEAR!

### FA画像処理装置の完成



研究開発



製品化

・鮮明な撮像技術について顧客から高評価

### 現状の課題

#### 営業活動

顧客に  
価値提案



現場作業者



意思決定者  
(経営層等)

・販売活動の際、顧客側における  
現場作業者と意思決定者（経営層等）で  
ギャップが生じている

### 解決策

#### 組織体制の見直し



- ・人材の投入により販売・マーケティングの  
プロセス強化
- ・顧客のニーズに対して  
適切な対応が可能な組織づくり

顧客への価値提供・受注の獲得



## 調印式



2023年 3月28日

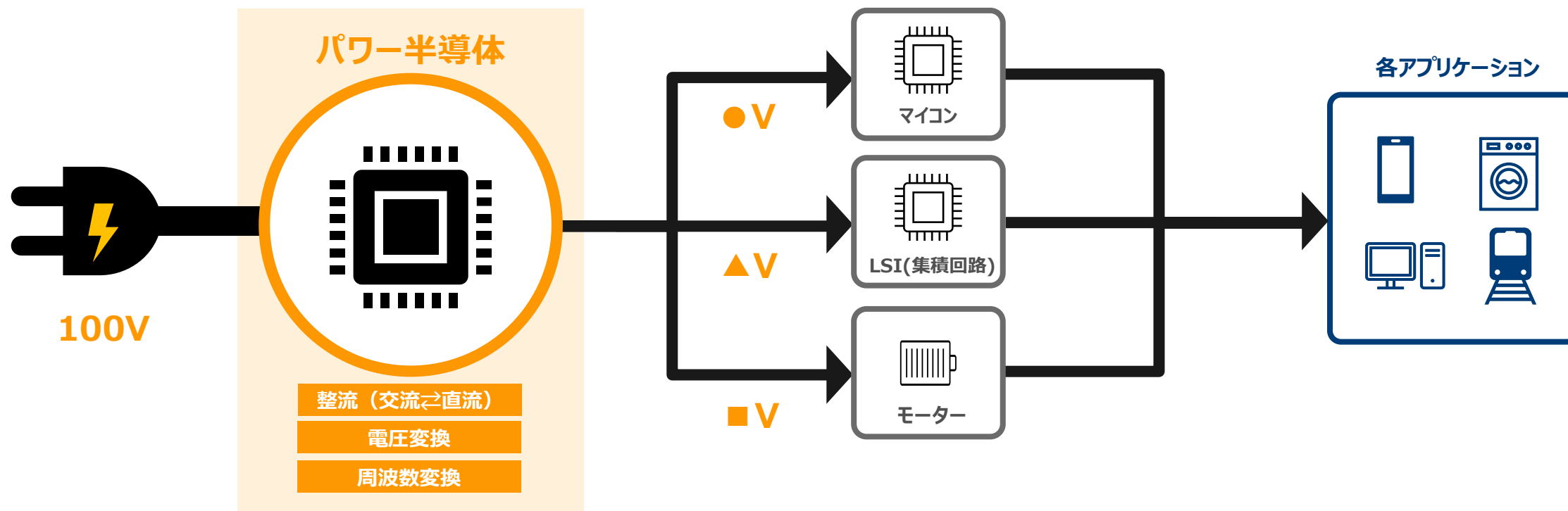
## 長崎開発センター



2023年 4月開設



パワー半導体 = 電源の電力をコントロール（制御/変換）する半導体



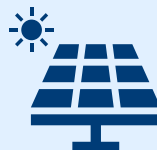
## 最終アプリケーション例



大出力モニター



自動車/電気自動車



太陽光発電  
パワーコンディショナー



鉄道



通信機器



PC



各種家電

## 次世代パワー半導体に用いられる <sup>シリコンカーバイド</sup> SiC 等の高脆性材料の 効果的な加工方法の研究、及び加工装置の開発

### 背景

#### 半導体材料のトレンド変化



従来の半導体は Si が主材料

より **高耐圧、高耐熱、  
高速制御（高効率）** が可能な  
**SiC** が注目されている

### 課題

#### 高脆性の難加工素材



従来の Si と比較して  
**硬くて脆い**（高脆性素材）

**加工難易度の高さ、  
生産コスト、生産効率** が課題

### 解決策

#### SiC 加工装置の開発

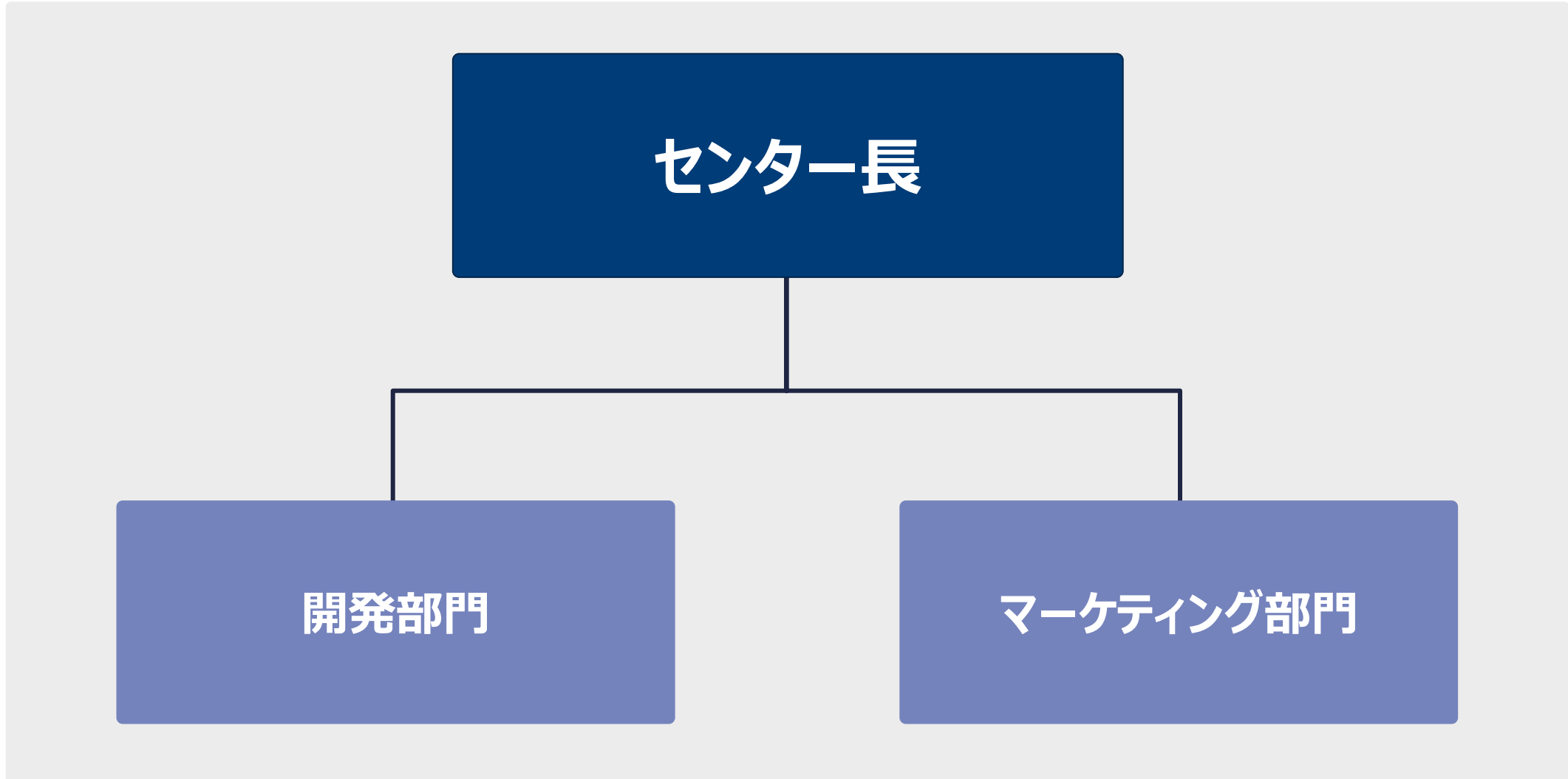


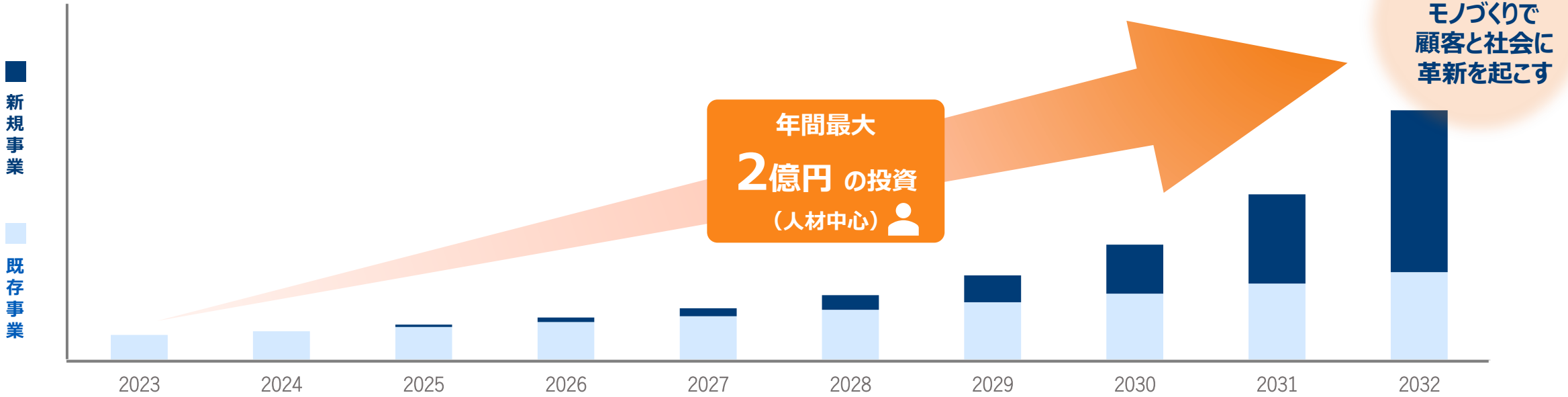
2021年～ 長崎大学と共同研究開始  
2023年～ 長崎開発センター開設

SiC ダイシング装置の  
開発・製品化を目指す

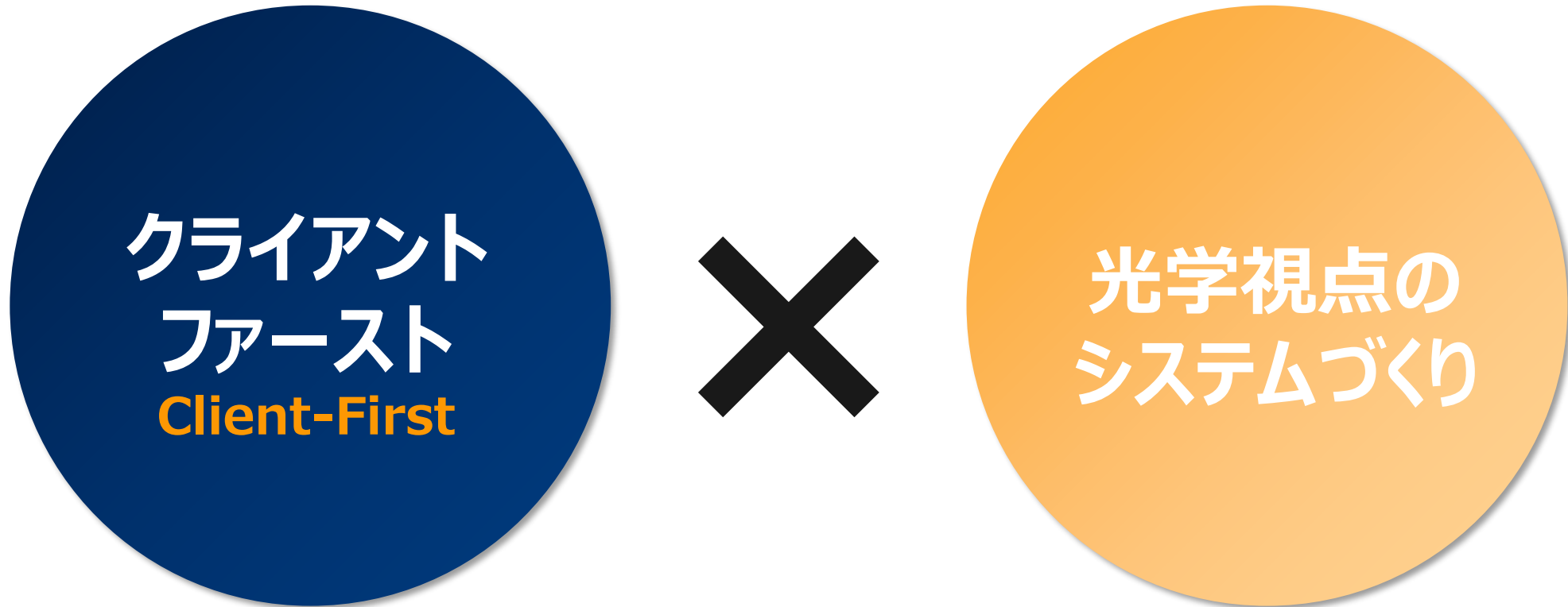
顧客へ提供する価値

- ① 高速加工
- ② ゴミが発生しない
- ③ 精密かつ綺麗に切断

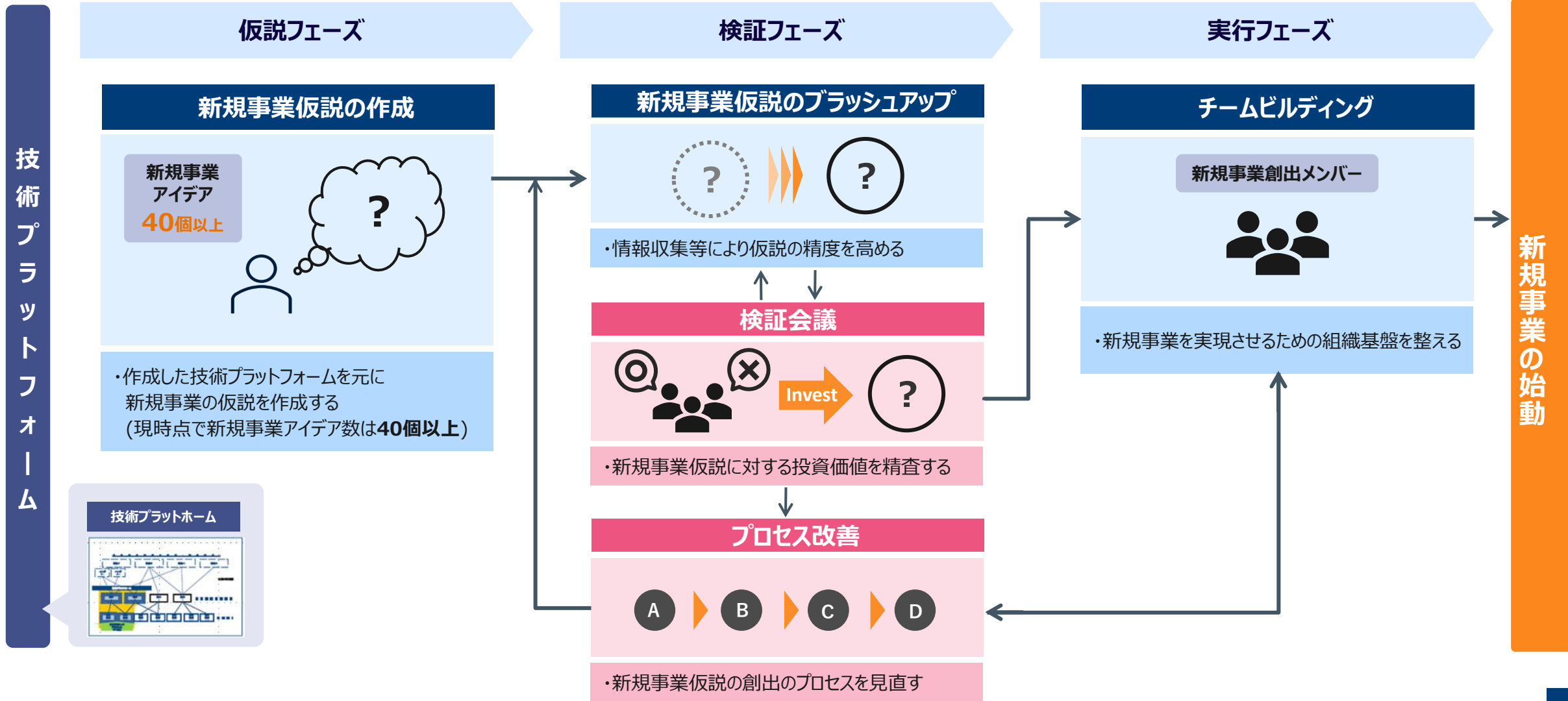




クライアントファースト×光学視点のシステムづくり  
「顧客の未来を光で創る会社」



## 新規事業の創出プロセス



恐れず  
挑戦

既存事業の成長 × 新規事業の創出

# Appendix ①

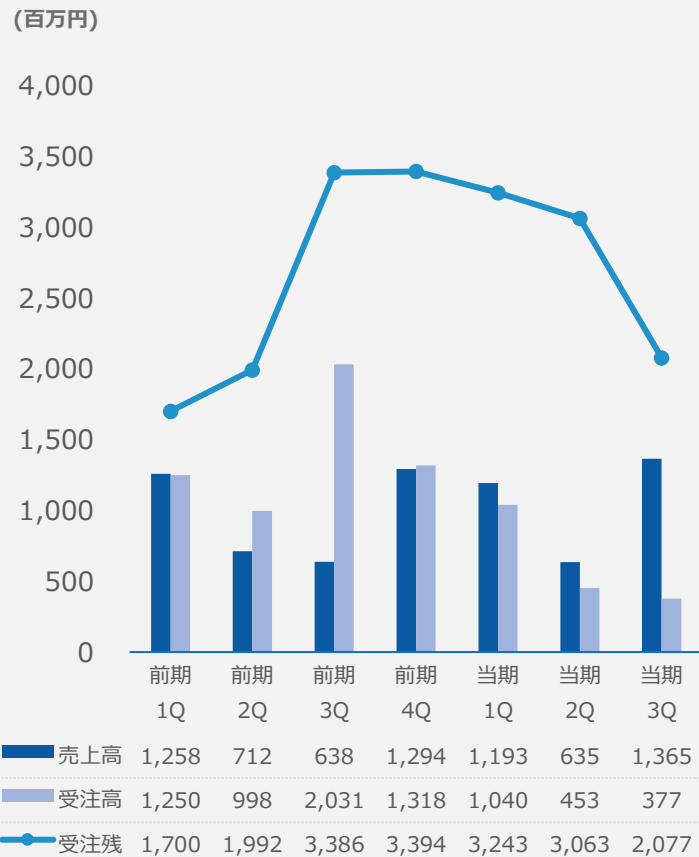
## セグメント別 サマリー



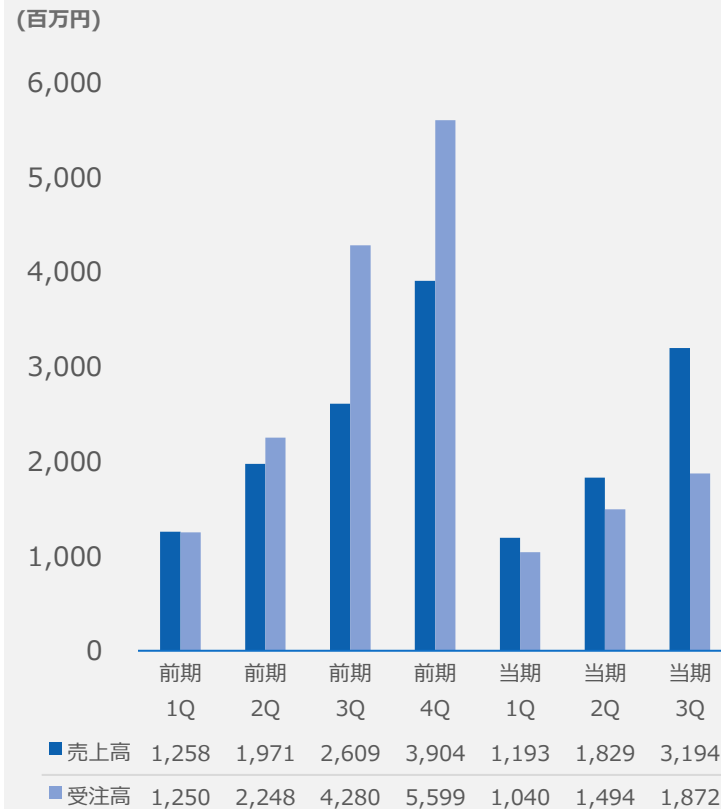
## POINT

- 海外顧客向け光源装置の販売が好調に推移したため、セグメント全体としては前年同期比で増収増益となった。
- 受注高が前年同期比で減少している要因は、前年同期において海外主要顧客向け製品の受注が集中していたことや、当期において顧客側の希望納期が長い案件を複数受注していたことから、受注残高が高い水準で推移しており、新規の受注が入りづらい状況にあったため。

### 売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



### 売上高・受注高 推移 (累計)



### 外部環境の主な変化

#### (1) 市場環境

- (+) ハイエンドイメージセンサの普及と用途拡大により引き続きイメージセンサの市場は中長期的に成長すると推測。



#### (2) 社会情勢

- (-) 社会情勢の不透明感による影響
  - ・スマートフォン等の最終アプリケーションの需要は引き続き停滞傾向。



#### (3) 顧客動向

- (-) 国内顧客向け製品 需要一時停滞
- (-) 海外顧客における新規設備投資 保守化傾向
- (+) 一部主要顧客において新規工場設立予定 設備投資需要が発生する可能性有り



### 内部環境の主な変化

#### (1) 研究開発

- (+) 新規光源装置の開発
  - ・一部主要顧客向けに従来品よりも高性能、高付加価値な光源装置を提供予定。

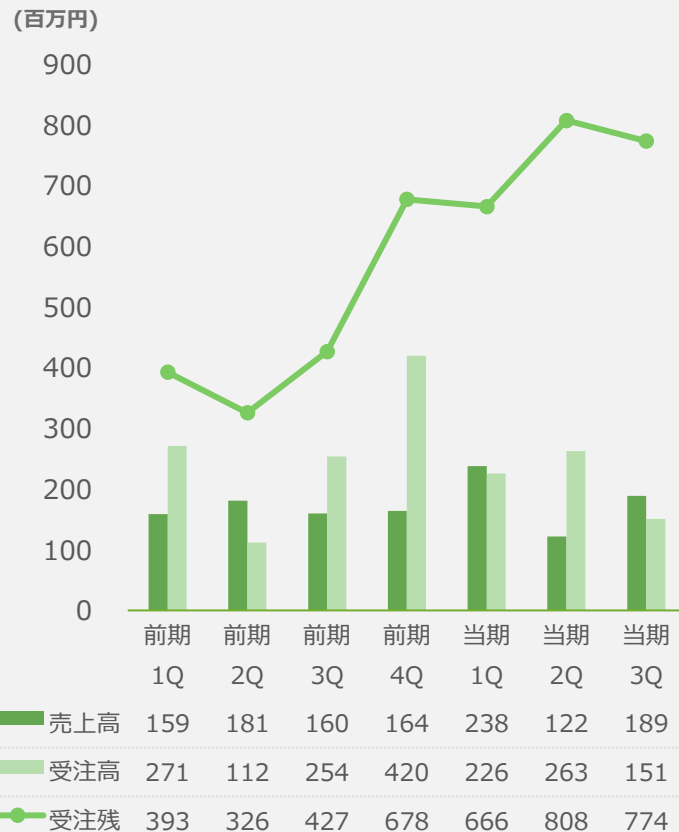


- (±) 新規顧客向け瞳モジュール™
  - ・引き続き新たな課題の解決を繰り返し行い、更なる受注獲得を目指す。

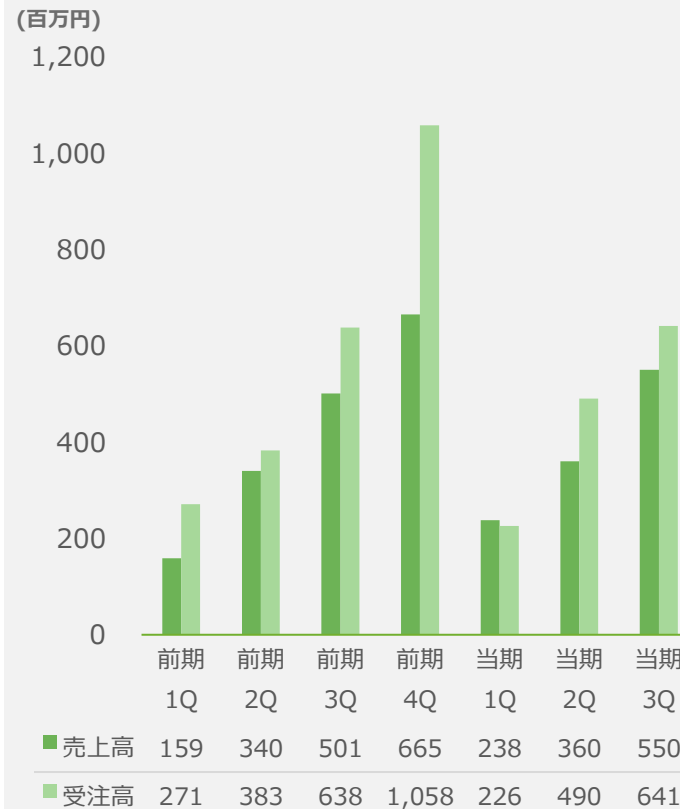
## POINT

- 乾燥脱臭装置本体の販売が堅調に推移したため、前年同期比で増収となった。
- 一方で、部材不足等の影響により、引き続き収益性の高いメンテナンス案件の売上が低調に推移したため、前年同期比で減益となった。
- 事業成長への取り組みとして、引き続き内部プロセスの見直しを実施。また、AEセンサ（故障予測、保全システム）の試作機が完成するなど、新製品の開発進捗中。

### 売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



### 売上高・受注高 推移 (累計)



### 外部環境の主な変化

#### (1) 市場環境

- (-) エネルギー、資材の値上げ  
 ・電気、燃料、紙、インキ等の値上げによって印刷コストが増加傾向。  
 本体装置、メンテナンスに対する需要に影響を与える可能性有。



#### (2) 社会情勢

- (-) 世界的な部材不足  
 ・引き続き本体装置、メンテナンスともに納期が後ろ倒し傾向。部品によっては納期が1年以上となっている物もあり、調達が遅れている。



#### (3) 顧客動向

- (+) 本体装置の発注増加  
 ・顧客側における環境問題改善の動きや、広告チラシの需要回復により、引き続き本体装置の引き合い増加。



### 内部環境の主な変化

#### (1) 新規事業への取り組み

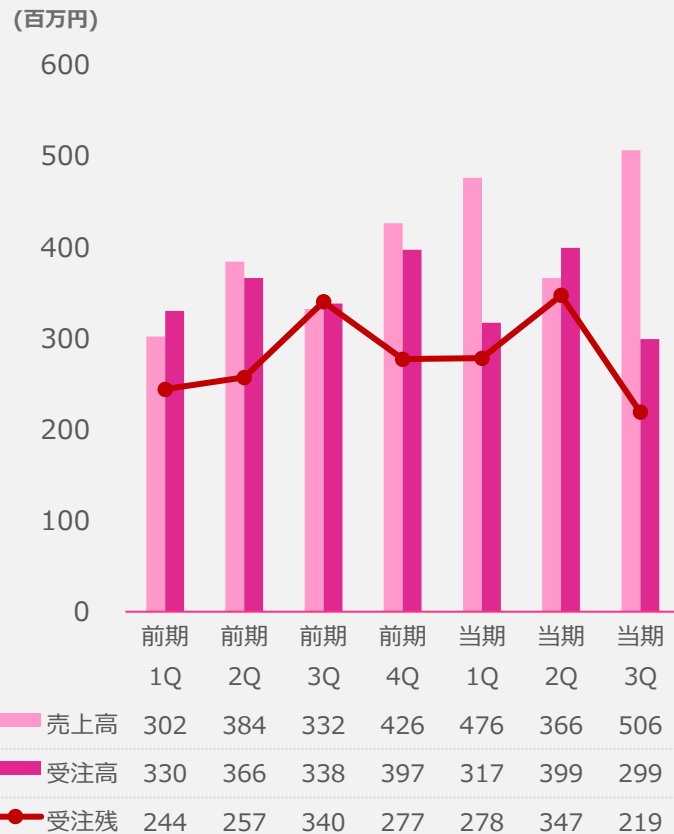
- (+) AEセンサの開発進捗 試作機が完成



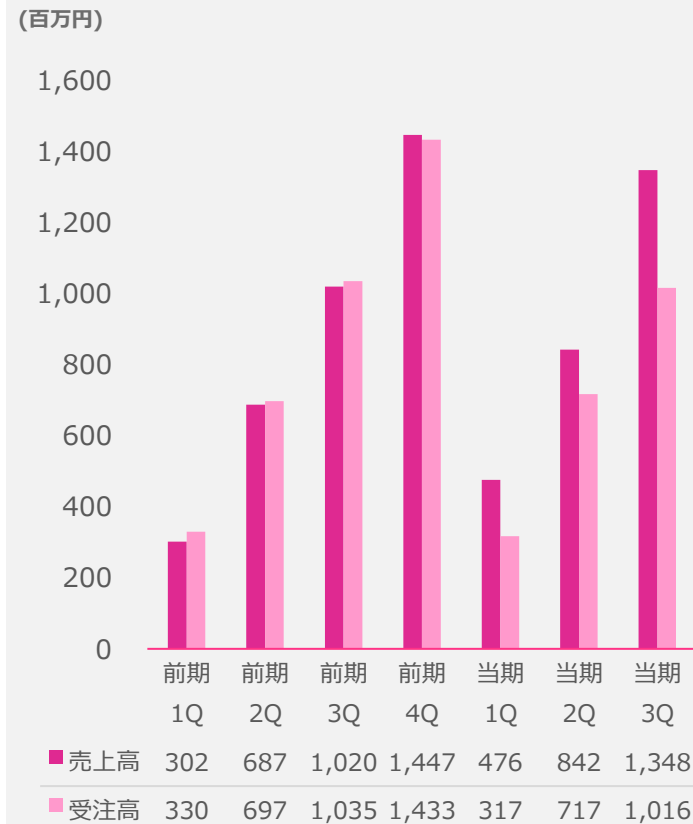
## POINT

- セグメント全体として前年同期比で増収増益となった。
- 精密除振装置：国内顧客及び海外顧客向けの製品共に販売が好調に推移したため、前年同期比で増収増益となった。モニタリングアプリ付き装置の引き合いも増加傾向。
- 歯車試験機：海外顧客向け製品の販売が堅調に推移したため、前年同期比で増収増益となった。新製品である歯車粗さ測定機は複数自動車メーカーから高評価。

### 売上高・受注高・受注残高 推移 (四半期毎)



### 売上高・受注高 推移 (累計)



### 外部環境の主な変化

#### (1) 市場環境

- (±) 工作機械業界の市況  
 ・自動車の生産台数が減少傾向にあるため、工作機械業界における出荷金額も低調に推移。一方、産業用ロボット向けの需要は海外を中心に堅調に推移。歯車製造業界へも波及。



#### (2) 社会情勢

- (-) サプライチェーンの混乱  
 ・部材の入荷遅延や価格が上昇している状況は継続。



#### (3) 顧客動向

- (+) 海外顧客向け 歯車試験機  
 ・引き続き中国顧客を中心に歯車試験機の需要増。工場自動化に向けた産業用ロボットに対するニーズ大。



### 内部環境の主な変化

#### (1) 新規製品に対する引き合い増加

- (+) FA画像処理装置:歯車分野以外でも引き合い発生。歯車粗さ測定機:複数自動車メーカーから高評価。  
 (+) モニタリングアプリ機能付きの除振装置引き合い増。



# Appendix ②

## 会社概要

商号	株式会社インターアクション INTER ACTION Corporation	上場市場	東京証券取引所 プライム市場
設立	1992年6月25日	証券コード	7725
代表者	代表取締役社長 木地 伸雄	事業年度	自 6月1日 至 5月31日
資本金	1,760百万円	URL	<a href="https://www.inter-action.co.jp">https://www.inter-action.co.jp</a>
従業員	126名（2022年5月末時点 グループ全体）	グループ会社	株式会社エア・ガシズ・テクノス 明立精機株式会社 株式会社東京テクニカル 西安朝陽光伏科技有限公司 陝西明立精密设备有限公司 MEIRITZ KOREA CO.,LTD Taiwan Tokyo Technical Instruments Corp. TOKYO TECHNICAL INSTRUMENTS (SHANGHAI) CO.,LTD 株式会社ラステック
本社所在地	神奈川県横浜市金沢区福浦1-1 横浜金沢ハイテクセンター14階 TEL:045-788-8373 FAX:045-788-8371		
事業所	横浜市中区・熊本県合志市		

重要指標

Equity Spread  
ROE

配当方針

総還元性向30%

M&A方針

成長分野・今後成長を見込める分野であること  
培ってきた技術や事業のノウハウが、事業展開に活用できる分野であること  
5年間の想定キャッシュ・フローをWACCで割り引いたNPVがプラスになること

## メール配信サービス

---

インターアクショングループに関する様々な情報をメールでお届けします

当社HP「メール配信サービス」画面

[https://www.inter-action.co.jp/ir/ir\\_mail/](https://www.inter-action.co.jp/ir/ir_mail/)

ご登録いただきました情報は、IRメール配信サービスのみを使用します。

個人情報の取り扱いにつきましては、当社ホームページに記載しております

「個人情報保護方針」をご参照下さい

<https://www.inter-action.co.jp/privacy/>

## お問い合わせ

---

株式会社インターアクション

経営企画室 経営企画グループ IR担当

神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル10階

TEL : 045-263-9220

<https://www.inter-action.co.jp/inquiry/>

HPお問い合わせ画面よりお問い合わせ下さい



## 注意事項

本資料に記載されている情報には、将来の業績等に関する見通しが含まれております。これらの見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づいて当社グループにより判断されたものであり、様々な潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向等の影響を受けるものであり、記載された見通しと大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、予めご了承ください。

事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。